

2024年8月25日 主日礼拝

司 会 ①大枝兄 ②蔵本兄 ③水谷兄(佐々木姉)
祈 禱
奏 楽

賛 美 聖歌498番「うたいつつ歩まん」(小林師愛唱歌)
(主はすばらしい)(あがめます主の御名)

主の祈り

聖 書 ① ヨハネによる福音書2章1～11節 (P137)
② マタイによる福音書6章6～13節 (P8)
③ ルカによる福音書6章12～19節 (P93)

音 楽 宮田四郎兄(ピアノ:柴田直美姉)(①V)

メッセージ ① 「あなたが奇跡になれるんです」 土屋勇人先生
② 「御国がきますように」 坪井永城副牧師
③ 「祈りつつ歩まん」 大川従道主任牧師

賛 美 「主我を愛す」(讃美歌461番) 献金
頌 栄 「聖なる聖なる聖なるかな」(讃美歌66番) アーメン
祝 禱

「恐れてはならない、わたしはあなたと共にいる。
恐れてはならない、わたしはあなたを助ける。」
(イザヤ四十一の十、十二)

【大和ニュース】

☆本日は、礼拝説教者に札幌より土屋勇人先生をお迎えできて感謝です。

- ・ 責任役員会(12:30・3階フェロニップ)、アブラハム会(12:30・3階ロビー)
- ・ エステル会(12:30・森地下)。青年会・学生会・ヤングチャペル(中高生):大集合!
- * 第4礼拝は大野メディア伝道師。「よろこびの出会い」18:00～19:00。

* 今週の祈禱会は佐々木副牧師。水夜と木朝。26聖人映像。木曜はヌイヌイ。

・ 土曜は生花奉仕、会堂掃除(12時)、聖歌隊(13時半)。

* 主日礼拝人数 ①63人(228) ②207人(164) ③261人(286) ④21人=1230人
定例祈禱会 水曜59人(120) 木曜97人(55)=331人 ※()内は YouTube のライブ人数

石の枕

先週の水曜夜、東村山の東京聖書学院にて「小林和夫先生の前夜式」がなされた。式辞は無二の親友・村上宣道先生。このお二人は、18才の神学校一年生のときから、ダビデとヨナタンのような愛と信頼の関係で、互いに祈りつつ励まし合って戦後の苦労の生活を乗り越えて来られた。

村上先生の説教は、いつもの落ち着いた紳士のそれとは違い、身体の半分をもぎ取られたような痛みの中での天的メッセージであった。

私もこのお二人のお陰で、説教者のお手本として、あこがれだけでなく模範として見上げ、従い、尊敬して生きて来た。1951年の出会いだから、ほぼ70年間の交わり。舎弟・愚弟としてご指導をいただいた。そんな関係なので説教者も、私も、何度も涙をおさえきれなかった。

1959年の渡米留学のときも、6年後に帰国されたときも、羽田飛行場に「いってらっしゃい！」「おかえりなさい！」のノボリを持って出たのは私ですから……。

帰国されてすぐに聖書学院院長を拝命された。世的に言えば出世街道を走りはじめたばかりなのに、愛妻の敬子先生を47歳で天に送り、あまりの苦しみで牧師を辞める思いに駆られ、苦悩の極みも体験された。

91歳で召天されるまで、伝道、牧会、学び、講演、世界中巡回伝道、執筆42冊以上。すべてが順調で、世界中の注目の的と思っていたが、今回の葬儀の「病歴」のプリントを見て啞然。60歳で心筋梗塞、72歳で脳内出血、左半身麻痺、78歳で左腎臓癌摘出、前立腺癌抗がん剤治療開始、88歳で腎臓透析開始、91歳で肺、肝臓、骨盤に腫瘍見つかる。心筋梗塞にて死去。

息も絶え絶えの中での最後のお言葉を村上先生に語られた。

「たのむな！これからのこと、たのんだぞ!!」これが別れのことば。

☆「苦しみの向こうに光を見て満足する」(イザヤ書53章11節)

☆「恐れてはならない、私はあなたと共にいる」(イザヤ書41章10節)

☆「しかし、わたしたちの国籍は天にある」(ピリピ書3章20節)

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう！
Aコース: Iコリント7章～11章 Bコース: 詩篇124篇～147篇